確率の求め方

ことがらの起こりやすさ

確率:ことがらの起こりやすさを数値で表したもの

確率の求め方

-**起こりうる場合がn通り**あり、そのどれが起こることも
同様に確からしい(同じように起こる可能性がある)

-このとき、**a通りのことがらが起こる確率** $\boxed{\dfrac{a}{n}}$

<例> さいころを1回振る
さいころの目は**6通り**あり、その目の出方は同様に確からしい

●1の目が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **1通り** $\dfrac{1}{6}$

●偶数の目が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **3通り** $\dfrac{3}{6}=\dfrac{1}{2}$

●3の倍数が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **2通り** $\dfrac{2}{6}=\dfrac{1}{3}$

<確認問題>
次の確率を求めよ。

(1) さいころを1回投げて3の目が出る確率

(2) さいころを1回投げて
4の約数が出る確率

(3) ジョーカーを除く52枚のトランプから
1枚引いてスペードのカードが出る確率

(4) ジョーカーを除く52枚のトランプから
1枚引いて奇数のカードが出る確率

(5) 赤玉が5個、白玉が10個入っている
袋から玉を1個取り出すとき、
赤玉を取り出す確率

確率の求め方

ことがらの起こりやすさ

確率:ことがらの起こりやすさを数値で表したもの

確率の求め方

-**起こりうる場合がn通り**あり、そのどれが起こることも
同様に確からしい (同じように起こる可能性がある)

-このとき、**a通りのことがらが起こる確率** $\boxed{\dfrac{a}{n}}$

<例> さいころを1回振る
さいころの目は**6通り**あり、その目の出方は同様に確からしい

●1の目が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **1通り** $\dfrac{1}{6}$

●偶数の目が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **3通り** $\dfrac{3}{6} = \dfrac{1}{2}$

●3の倍数が出る確率 1, 2, 3, 4, 5, 6 **2通り** $\dfrac{2}{6} = \dfrac{1}{3}$

＜確認問題＞
次の確率を求めよ。

(1) さいころを1回投げて3の目が出る確率
起こりうる場合は6通り、
3の目が出るのは1通りより、
確率は $\frac{1}{6}$

$\dfrac{1}{6}$

(2) さいころを1回投げて
4の約数が出る確率
起こりうる場合は6通り、
4の約数は1, 2, 4で
4の約数が出るのは3通りより、
確率は $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

$\dfrac{1}{2}$

(3) ジョーカーを除く52枚のトランプから
1枚引いてスペードのカードが出る確率
起こりうる場合は52通り、
スペードが出るのは13通りより、
確率は $\frac{13}{52} = \frac{1}{4}$

$\dfrac{1}{4}$

(4) ジョーカーを除く52枚のトランプから
1枚引いて奇数のカードが出る確率
起こりうる場合は52通り、
奇数が出るのは28通りより、
確率は $\frac{28}{52} = \frac{7}{13}$

$\dfrac{7}{13}$

(5) 赤玉が5個、白玉が10個入っている
袋から玉を1個取り出すとき、
赤玉を取り出す確率
起こりうる場合は15通り、
赤玉が出るのは5通りより、
確率は $\frac{5}{15} = \frac{1}{3}$

$\dfrac{1}{3}$